

高品質オフセットカラー印刷とPOD印刷の2つの手法 を駆使して小ロット・短納期サービスを提供

38

春日印刷有限公司



こだわりのドイツ・ハイデルベルグ社製印刷機

個性的な印刷サービスを提供

こだわりの設備

最新のデジタルカラー印刷を手がける一方で、A2サイズを同時に両面印刷する機械や、昔ながらの活版印刷機など、こだわりの印刷機械を保有しており、個性的な印刷サービスを提供する。小ロット、短納期要求に対応する「POD（プリント・オン・デマンド）印刷」サービスも行っている。

生かし

インターネットを使った印刷が本格化する以前の2007年に印刷の通販サイト「生かし」をスタート。“ちらしずし”に由来する名前の通り、「すぐにできて気軽に頼める」（伊藤社長）のがコンセプト。100枚から注文が可能で、1営業日で納品・発送する特急印刷にも対応している。



経営者からひとこと

代表取締役
伊藤 博雅さん

小さなポイントカード一つ作るのも、豊富な用紙・印刷方法・仕上がりイメージ等をご提案し、もらった人に喜ばれるものづくりをモットーにしています。

●主な設備

B3サイズ4色印刷機、B4サイズ活版印刷機、菊判サイズ(65×46cm)2色・同時両面印刷機、ナンバーリング印刷機、断裁機、紙折り機

●主な取引先

大分県、大分市、県内企業、医療関係団体、学校、デザイン会社、デザイナー

独自の技術



活版印刷機に使う亜鉛の版は、わざわざ県外の業者に製作してもらうという。はがきや名刺などを印刷すると独特の風合いが生まれるため、全国から製作の依頼がある。

自社の強み



小ロット、冊子印刷を得意とする。デザイン提案から製本仕上げまで、顧客とは「一対一で向き合う」という伊藤社長。印刷の完成度も見据えて、特殊紙での印刷なども提案する。

今後の展望



PODを活用した商品開発に取り組んでおり、「ポケットブック」はその一つ。胸ポケットに入るサイズの無線とじ冊子で、企業ごとのオリジナル手帳などの製作で評価を高めている。

春日印刷有限公司

TEL 097-534-1221

MAIL info@kasugaprinting.co.jp

住所 大分市勢家町3丁目4番23号

URL http://www.kasugaprinting.co.jp

設立 1963年2月

資本金 500万円

従業員 7人

39 特殊形状のパッケージ製作を 支える独自の技術

極東印刷紙工株式会社

独自の技術



特殊な形状の箱も、もともとは一枚の紙から形作られたもの。その基になるのが展開図だ。完成形をイメージしながら作成するには経験に基づくノウハウが必要で、同社の独自性を高めている。

自社の強み



パソコンで作製した設計図通りに厚紙を型抜きするサンプルカッターという機械を導入している。厚い紙に印刷できる設備なども充実しており、設備を持たない印刷会社からの依頼も多いという。

今後の展望



ビニール素材などの印刷ノウハウを吸収し、箱や小袋、手提げ袋までトータルで提案できる能力を磨いていきたいという。若い女性デザイナーが4人おり、高い感性で商品開発ができると期待する。

極東印刷紙工株式会社

TEL 097-543-3131
MAIL welcome@mail.kyokuto-p.jp
住所 大分市大字古国府146-3
URL http://www.kyokuto-p.jp/
設立 1951年
資本金 8,000万円
従業員 53人



さまざまな形状のパッケージを製作

新しいものへの興味が新商品を生む

提案営業で開拓

チラシやパンフレットなどの一般印刷も取り扱うが、ユニークな形状の袋やパッケージの製作を得意とする。ものづくりに思い入れが強かった先代の社長がデパートへ提案営業をし、特殊な形状のパッケージを作り始めたのがきっかけだという。

商品の源泉

笠木社長は「目新しいものや、変わったものがあれば買って来てね」と社員に呼びかけているという。風呂おけのような形で、中の仕切り板を取り出すと湯気のポップになるお菓子の箱（上掲写真左側）や、箱の中に観光ガイドが記載された土産物の箱など、新しいものへの興味がユニークな商品を生み出す源泉となっている。



経営者から
ひとこと
代表取締役社長
笠木 恵美子さん

生産者が一生懸命作ったものを、たくさん
の人の目に触れてもらいたいと思っています。
商品にお化粧をして発信するのが私たち
の仕事です。

●主な設備

印刷機、トムソン打ち抜き機、
サクマシオン機、試作機

●主な取引先

(株)トキハ、富士甚醤油(株)、
J:COM 大分ケーブルテレコム(株)、
大分県、大分市

デジタル技術と職人の技の融合で、 ニーズに応じた多様な提案力を構築

40

佐伯印刷株式会社



DTPグループ作業風景(クライアント・サーバシステムを基本とした分散作業により効率化を実現)

電子媒体も活用し、効果的な情報発信を実現

ワンストップサービス

従来の紙の印刷にとどまらず、ホームページやデジタルサイネージ、電子カタログ、動画制作なども手がけ、顧客ニーズに応じた効果的な情報発信を行う。企画・デザイン部門やデジタルコンテンツ部門を設けているほか、マーケティングを含む提案を行うソリューション室も有しており、印刷を軸にしたワンストップサービスを掲げている。

白書での実績

中央省庁の白書など「編集作業のスピード、正確さが求められる仕事」(平岩社長)でも長年実績を積み重ねてきた。校正・校閲体制の充実に加え、パソコンを用いて印刷物のデータ作成、デザインを行う「DTP(デスク・トップ・パブリッシング)技術」を駆使し、高品質と短納期を実現している。



経営者から ひとこと

代表取締役社長
平岩 照正さん

ドローンを使った空撮やスマートフォンなどと連動したAR技術など、紙の印刷に付加価値を持たせる事業を展開していきます。

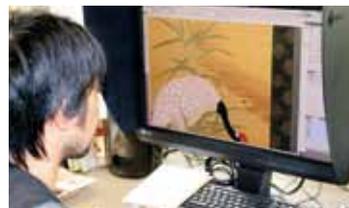
●主な設備

DTP 編集機、オフセット8色印刷機、オンデマンド印刷機、断裁機、中綴機、無線綴機

●主な取引先

行政機関、民間企業、各種団体

独自の技術



設備面ではハイデルベルグ社の8色印刷機を地域でいち早く導入。ビジュアルが重視される美術本などはスキャン部門の社員が色の再現性を確認するなど、職人の技術も制作を支える。

自社の強み



DTPに携わる社員数は30人以上に及ぶ。一人の社員が複数の業務に従事する多能工化も進めており、社内一貫生産体制を確立し、生産性の向上に力を注ぐ。

今後の展望



右肩下がりが予測される印刷業界で、国際学会などの「MICE」に関連した事業は、インバウンドの増加もあって成長が期待される。「国際会議の抄録などでは当社のDTP技術が生きる」(平岩社長)と期待する。

佐伯印刷株式会社

TEL 097-543-1211

MAIL info@saiki.co.jp

住所 大分市古国府1155-1

URL http://www.saiki.co.jp/

設立 1941年

資本金 2,000万円

従業員 110人

41 古き良き活版印刷で オリジナル商品を展開

株式会社高山活版社

独自の技術



活版印刷機は紙のセット位置や機械を動かすスピード、紙の特性に合わせた加圧など多くのノウハウが求められる。機械の性能を熟知した職人がお客の要望を忠実に具現する。

自社の強み



本社内に活版印刷の技術を理解してもらうための「高山活版室」を新設し、デザイナーやお客との創造の場を作った。活版印刷が評判を呼び、有名酒造会社のコースター作りの案件を受注するに至っている。

今後の展望



受注待ちのスタイルから脱却し、世界に一つだけの高品質かつ高付加価値のオリジナル商品作りを展望する。印刷会社の枠を越え、被災時に役立つ情報を防寒シートに印刷したオリジナル防災商品も販売している。

株式会社高山活版社

TEL 097-568-8227
MAIL eiichiro@printcom.co.jp
住所 大分市片島尻込301番地の1
URL http://takayama-print.main.jp/
設立 1910年※創業年
資本金 1,000万円
従業員 12人



活版印刷機「プラテン」(ハイデルベルグ社)

高品質な印刷物を作る印刷屋へ

モノクロの風合い

創業108年を迎えた老舗印刷会社。名刺や伝票、冊子といった事務用印刷物のほか、結婚披露宴の招待状など婚礼印刷物を中心に手がける。次世代の事業の柱を作るため5年前に復活させたのが活版印刷。古い機械による精密な印刷で、印刷部分がへこむことで立体感があるのが特徴。印刷できる用紙の種類も多く、モノクロな風合いは印象深くどこか懐かしい。

デザイナーとタッグ

小型の卓上式活版印刷機自体は市場に出回るが、製本までできる印刷所は全国でも限られる。デザイナーと組んで立ち上げたオリジナルステーションリーブランド「TAKAYAMA LETTER PRESS」の商品を5県7店舗のセレクトショップで展開している。



経営者から
ひとこと
代表取締役社長
高山 英一郎さん

印刷物で困った際に頼りになる存在になりたいと思っています。印刷というベースを大切にしつつ、ものづくりで社会貢献していく所存です。

●主な設備

オフセット印刷機、活版印刷機、
オンデマンド印刷機

●主な取引先

(株)トキハ、ジェイリース(株)、
ヤクシングループ